

## 様式2

環境保全行動 報告提出書  
自動車使用管理実施

2025年8月21日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目2番
氏 名	エア・ウォーター物流 株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 佐藤 能衛

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動  
第23条第3項

報告書を提出します。

報告期間		2024年4月1日～2025年3月31日			
事業の規模	従業員数	183	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	1808.3
	使用床面積	28642.2	m <sup>2</sup>		k1
	事業所数	4	事業所	自動車使用台数	70
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 4230 t-CO <sub>2</sub>	メタン t-CO <sub>2</sub>	N <sub>2</sub> O t-CO <sub>2</sub>	HFC t-CO <sub>2</sub>
		非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>
	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	
報告書の担当部署		担当部署名			
		担当者氏名			
		電話/FAX			
		電子メールアドレス			
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項	
計画期間		2023年4月1日～2026年3月31日			
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり			
備考					

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2023年 4月 1日～ 2026年 3月 31日

【報告期間】

2024年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2023年度結果			2024年度結果			2025年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
自動車の使用に伴う二酸化炭素の削減	14751	1	19752	▲ 34	×	20219	▲ 37	×			
	kg/台	%	kg/台	%		kg/台	%				
自動車の使用に伴う窒素酸化物の削減	8754	1	11396	▲ 30	×	2703	69	○			
	kg/台	%	kg/台	%		kg/台	%				
自動車の使用に伴う粒子状物質の削減	5.37	1	7	▲ 30	×	7.35	▲ 37	×			
	kg/台	%	kg/台	%		kg/台	%				
電気使用量の削減	4953	1	5000	▲ 1	×	4937	0	△			
	千kwh	%	千kwh	%		千kwh	%				
灯油使用量の削減	6.9	1	6	13	○	5	28	○			
	kl	%	kl	%		kl	%				
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
自動車の使用に伴う二酸化炭素の削減	×	自社車両の稼働増加に伴う走行距離・燃料使用量の増加が要因
自動車の使用に伴う窒素酸化物の削減	○	
自動車の使用に伴う粒子状物質の削減	×	自社車両の稼働増加に伴う走行距離・燃料使用量の増加が要因
電気使用量の削減	△	取扱い荷量の増加に伴い電気使用量が増加
灯油使用量の削減	○	